手書きバンドスコア

或好中球の一生

作詞・作曲:河本 宏 (京都大学 医生物学研究所 所長 再生免疫学分野 教授)

解説

血流中を漂流する好中球が、ある日覚醒して病原体の侵入部位に赴く。貪食に興じ、やがて その短い生涯を終える。儚い生を宿命として粛々と生き抜く好中球の喜びと哀しみを、石井 がシャッフルのリズムに乗せて朗々と歌い上げる。

骨髄で成熟した好中球は血流に乗って身体中を漂流する。血管内腔に出ている接着分子によってつなぎ止められ、血管壁を転がるように移動する (ローリング)。その時、炎症部位から届いたケモカインを感知すると、好中球は活性化される。炎症部位へ移住し、病原体を食べまくる。好中球の寿命は、せいぜい数日。殆どの好中球は活躍する事なく死んでいくが、それは体にとっては平穏無事である事を意味している。

(河本)

【歌詞】

澱んだ街で 人にまみれ 気ままに育ち 巣立った後は 世の流れに 体をあずけ あてなくさすらう 旅の中 ある日 遠い声を聞いた 長い夢から 覚めるように 悟った ここが point of no return

Attaching, Rolling, 血管壁に へばりついて 偽足を伸ばし 基底膜を 貫いた ケモカインに導かれ 獲物の狩場へやってきた どこから来たのか知らないが 奴らの匂いはそそるぜ my appetite

Capturing, engulfing, 腹の中で 溶かして殺す 地元の友は 少し食べて どこかへいった あいつの仕事は知らないが 俺はここで 食べるだけ

でも知っている いつの日か 腹が満ちると the end of my life

【歌と演奏】

Negative Selection

Vocal: 石井 優

大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学教室 教授

Guitar:河本 宏

京都大学 医生物学研究所 所長

Bass: 石戸 聡

兵庫医科大学 医学部 病原微生物学講座 教授

Drums: 北村俊雄

東京大学名誉教授

神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター センター長

Keyboards: 大久保博志 有限会社プログレス

プロデューサー :河本 宏

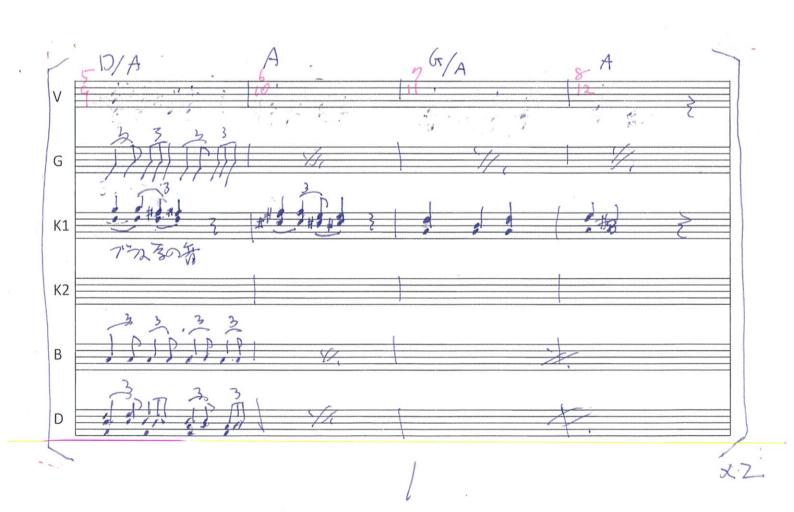
音楽・映像ディレクター/編集: 大久保博志

録音スタジオ :

夢スタジオ(群馬: Basic Track 録音)

京都マザーシップスタジオ(京都:ボーカル録音)





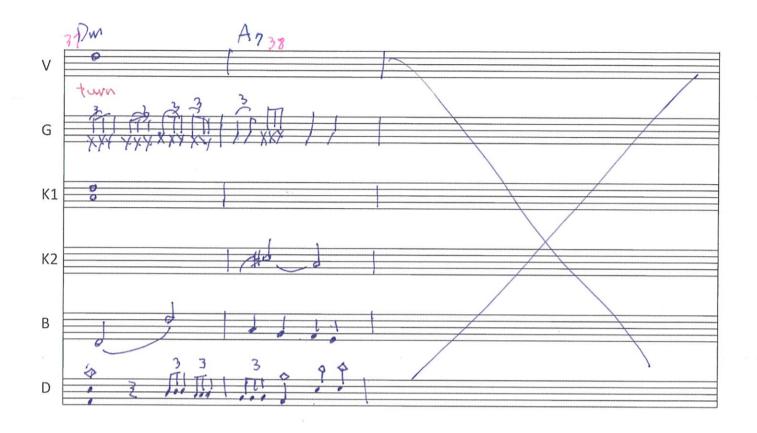


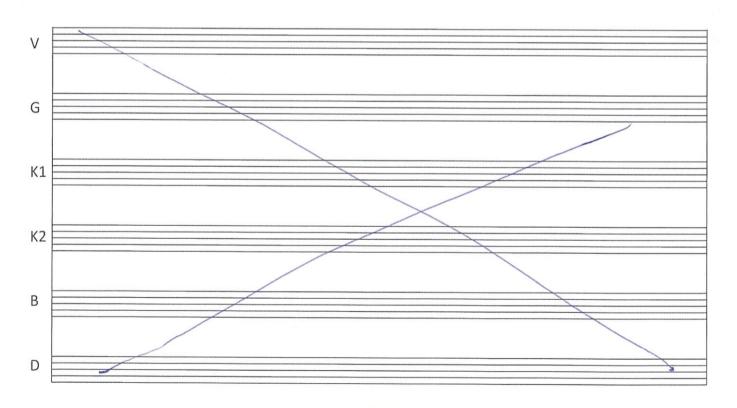






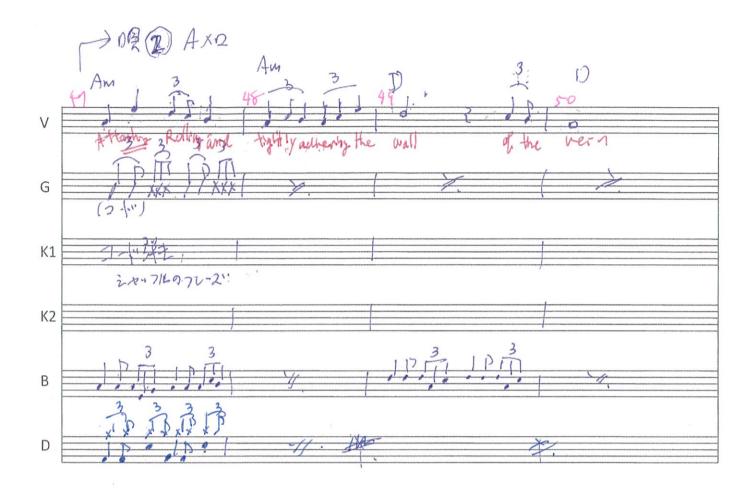




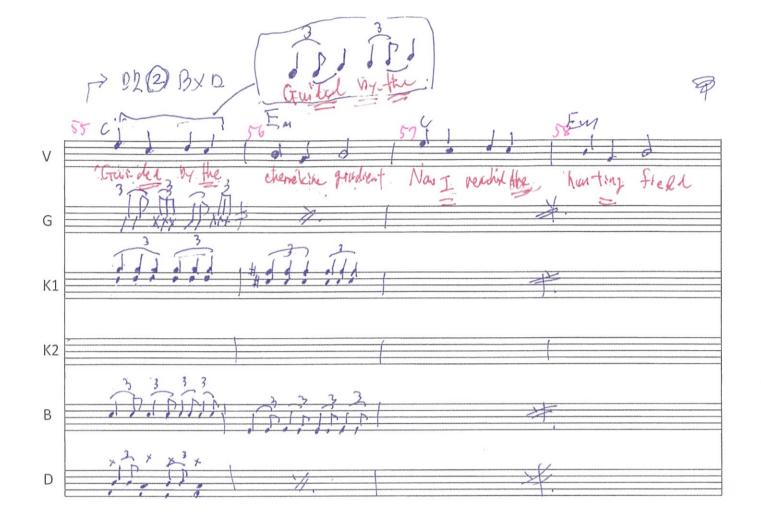




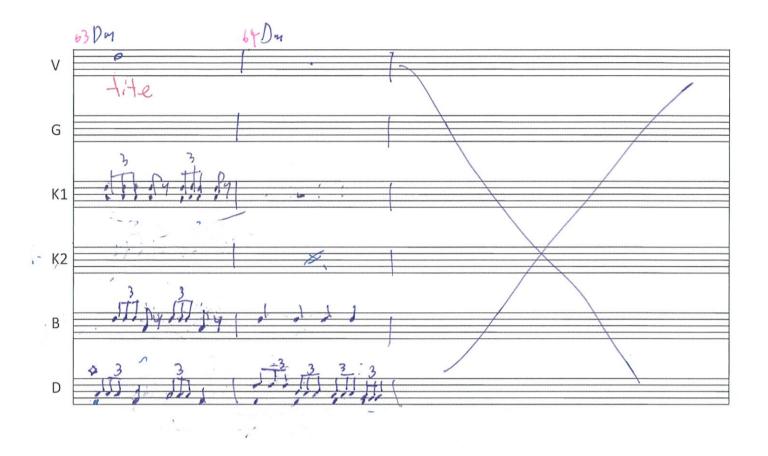


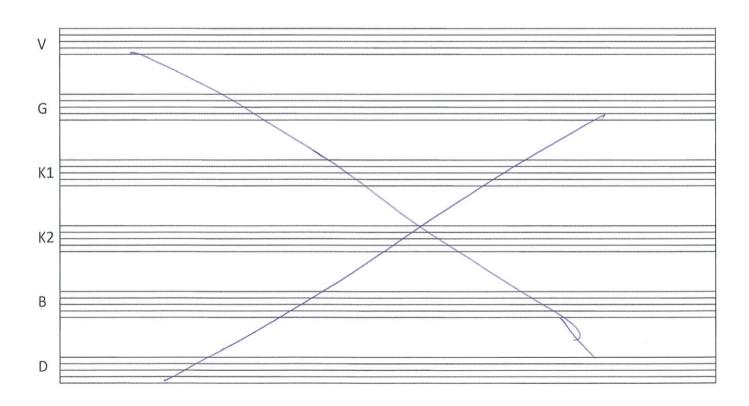




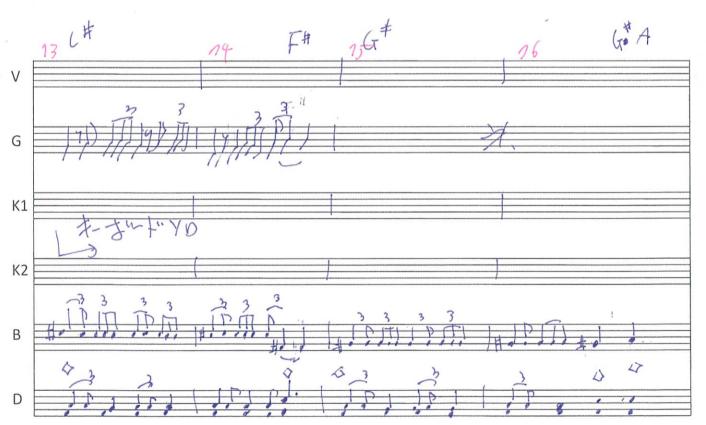


















B 12





